

大東中学校前の市道拡幅・改良工事が始まります。

大東中学校前の市道は、以前は通学路として学生が通っていましたが、道幅が狭く車の交通量が多く大変危険であるため通学路を変更し、軽自動車がやっと通れるような民家の中の道路を使うようになっていました。

平成24年には中学校、PTAのほか各地区代表者が集まって検討した結果、道路拡幅整備の方向性が決まりました。その後勝山街道の4車線化整備事業終了後に整備するとの約束を取り付け、平成30年度から拡幅整備に向けた予算が盛り込まれることとなりました。今後さらに延伸できるよう活動を続けていきます。



地域未来投資促進法による企業進出と農用地(12月議会から)

今年2月に福井市は、国道416号、158号沿道において農業振興地域の除外や農地転用といった調整が整った場合に大規模な工場等の立地を可能としました。9月、県は地域未来投資促進法に基づく基本計画を策定し、問屋団地周辺や福井IC周辺、福井北IC周辺を重点促進地域と定めその区域内では農業振興地域の除外や農地転用といった調整が整った場合に大規模な工場等の立地を可能としました。今後の福井市東部の発展を後押しする施策です。

県遺族連合会 70周年記念式典にて



9月定例会は国体応援用ポロシャツを全員着用



福井市下水道使用料制度審議会で意見を述べました。

福井市の下水道・上水道は、全国の先駆け整備が進んだことから老朽化が進み施設の計画的な改築・更新が必要となっています。一方で、人口減少や節水機器の普及により使用料収入の減少等による厳しい財政状況が予測されています。そこで今年度上下水道それぞれに審議を設置し、私も下水道使用料制度審議会の一員として意見を述べ、検証を進めました。各審議会は、昨年12月に市長へ答申を出しました。今後、市議会3月定例会に提案される予定です。下水道の値上げについて、説明します。

福井市では平成31年度から上水道・下水道の利用料を約2割値上げします。



なぜ値上げ？

- ①福井市は平成36年度をめどに公共下水道の管路整備を進めている一方で、すでに整備された区域では施設の老朽化が進んでいる。
  - ②建設工事を行っている間は借入できた資本費標準化債が減少するため実質的な借金返済額が増える。
  - ③今後の利用収入の大幅な増加が見込めないため、財政の今後を予測すると赤字傾向が続き、平成36年度には資金残高がマイナスになる。
- ※補足※ 平成9年以来料金の改定を行っていない。

今は黒字なら、赤字になる少し前に改定したら？

確かにあと5～6年は資金残高(家でいう預貯金)が残っているのだからもう少し後で値上げするという考え方もできます。今回は、人口減少が進む中まだ利用者の多いうちに料金を頂いて、将来の人達への負担を少しでも減らしたいと考え、早い時期での改定となった。

経営努力なしで市民に負担だけさせるのは困る。

平成29年3月に策定された「福井市下水道事業経営戦略」に基づいて今後10年間、事業の効率化を図り、収入の確保に努める。

審議会での付帯意見

今回の利用料改定では大幅な値上げとしたが、次回の使用料改定の際には過度な負担とならないよう経営の健全化を図って欲しい。

使用料改定にあたっては、市民(使用者)の理解が不可欠であり、使用料の使い道やなぜ今回改定が必要になったかを理解できるよう周知してほしい。また、日々の経営健全化についても広報を怠らないようにしてほしい。

市議会3月定例会において利用料改定案が提案され、審議されます。議員として料金改定に関する情報をお知らせしていき、ご意見をお伺いしたいと思います。